

## ほんとにたべてる！

記入者 ばら組担任



5月から継続してダンゴムシへの興味関心が膨らんでいる子供たち。最初の頃は見つけることが楽しくて、手の中にたくさんのダンゴムシを捕まえて喜んでいました。少し経つと、見つけたダンゴムシをベンチに集め、ウッドチップや木の枝を並べてダンゴムシの家を作って遊ぶようになっていきました。

そして今、虫かごを持って園庭でダンゴムシを集めると、「葉っぱを食べるんだって」「じゃあ葉っぱを集めよう」「土も入れる?」「じゃあ入れよう」「石も食べるかな」「分からないけど入れとこ」「木の枝があったよ」「入れて入れて」と、“ダンゴムシと一緒にいろいろな物を入れてみよう”と楽しみ方が変化してきました。

お部屋に持ち帰った虫かごをのぞき込むと、自然と会話が弾みます。「どのダンゴムシが一番大きいでしょうか!」「これ!これが絶対お父さんと思う」「ぴんぽーん♪」とクイズをしたり。「あ、僕の(拾った)枝を歩いてるよ」「赤ちゃんがお母さんの背中に乗ってる」「動かないのがある」とじっくり観察して気付いたことを互いに伝え合ったり。

葉っぱが欠けているのを発見した日には、食べられていた葉っぱだけ出して並べてみると、「ほんとにたべてる!」と驚きと喜びの表情で、目を輝かせていました。触れたり、見たりしながら、いろいろな不思議を味わっています。